

Art | Basel Hong Kong

プレスリリース

香港 | 2026 年 3 月 31 日

2026 年度のアートバーゼル香港が閉幕。アジアのアートマーケットの中心地にて、世界各国からの参加と好調な販売実績を記録し、美術館・機関との連携拡大を実現しました。

地域横断的な需要が拡大しており、アジア太平洋地域のマーケットはさらなる成熟を見せています。また、世界各国のコレクターや美術館関係者の幅広い参加、進化したキュレーションの枠組み、そして地元香港とのより深いつながりを通じて、グローバルなアートのエコシステムにおける重要な拠点としての本フェアの地位が改めて確立されました。

アートバーゼルは、あらゆるマーケットセグメントにおいて好調な販売実績を収めるとともに、コレクター、美術館・機関関係者、文化界のリーダーなど極めて国際色豊かな来場者を迎え、2026 年度の香港展を閉幕しました。本フェアを通じて、アジアにおけるグローバルなアート界のハブとしての香港の存在感をより一層高めました。

本フェアは、展示会場および市内全域で開催されたパブリックプログラムを通じて 91,500 人の来場者を迎えました。この盛況ぶりから、本フェアにとどまらず、香港の広範な文化シーン全体に対する関心の高さがうかがえます。

また本年のフェアでは、アートバーゼルと香港文化スポーツ観光局（CSTB）による新たな 5 年間のパートナーシップ協定も発表されました。本協定を通じて、アジアにおける本フェアの独占開催都市としての香港の地位をさらに確固たるものにし、市内の文化エコシステムの長期的な発展を後押ししていきます。

会期中、各ギャラリーからは売上が終始好調に推移したことや、中国本土、香港、韓国、台湾、日本、東南アジアといったアジア太平洋地域をはじめ、欧米から訪れたコレクターと活発な交流が行われたことが報告されました。また多くのギャラリーから、コレクターが地域、世代、カテゴリーの枠を超えて作品を収集するなかで地域を越えた対話や作品の成約が増加していることや、若年層や新規購入者の市場参入が著しく増えていることが報告されています。

フェア全体を通してキュレーションがさらに進化し、アートプログラムにおいてより一体感のある先見的なアプローチが打ち出されました。新たなキュレーターチーム（片岡真実、イザベラ・タム、アリア・スワスティカ、徳山拓一）が率いる「エンカウンターズ」部門では、アジア太平洋地域で高まる美術館・機関関係者の関心に呼応する形で、意欲的なサイトスペシフィック・プロジェクトが展開されたほか、「エコーズ」や、イーライ・シャインマンのキュレーションによる「Zero 10」をはじめとする新しいフォーマットを通じて、多様化するアートの表現形態やコレクションの動向に呼応する、よりテーマを絞り込んだ展示手法が導入されました。

この広範な進化は、アジアの美術館・機関とのより緊密な連携、そして市内のギャラリーや文化的なエコシステム全体の持続的な成長にも表れています。

販売実績

会期中、各ギャラリーからは安定した販売が続いたとの報告があり、VIP プレビュー以降の一般公開日においても、あらゆるマーケットセグメントにわたって継続して取引が行われました。

特にアジア太平洋地域のアーティストに対する需要が顕著であり、著名な作家から新進気鋭の作家まで高い関心が寄せられました。同時に、国際的なアーティストの作品についても、アジア全域のコレクターとの安定した成約が続いています。

クロスメディアによる表現は引き続き勢いを増しています。2025 年のアートバーゼル・マイアミビーチでの世界初公開に続き、今回アジア初上陸を果たした「Zero 10」によって、デジタル時代のアートに対するアートバーゼルの取り組みは大きな

広がりを見せました。フェアと完全に一体化したこの取り組みによって確かなキュレーションに基づく市場環境が構築され、デジタル技術を用いた作品を最高水準で提示し、批評的な枠組みを与えた取引を可能にしたことで、アジア地域の関心の高いコレクター層や、こうした表現手法に対する美術館・機関の高まる注目にしっかりと応えています。

厳選された近作の展示に特化した新部門「**エコーズ**」の導入も、こうした活況をさらに後押ししました。中堅ギャラリーの支援や、特定のテーマを掘り下げるアーティストの表現に焦点を当てたこの部門は、コレクターや美術館・機関から継続的な関心を集めました。この盛況ぶりから、大規模なフェアという形式の中にあっても、より焦点を絞った、対話を促すような展示が求められていることがうかがえます。

世界各国から集まったコレクターと美術館・機関関係者

2026年度のアートバーゼル香港には、世界各地から幅広い層のコレクターや美術館・機関が集結しました。とりわけアジア太平洋地域からの参加が目立つとともに、主要な国際市場からも引き続き高い関心が寄せられています。

会期中、会場には長年アートを支援してきた著名なパトロンから新世代のコレクターまで幅広い層が集い、活発な賑わいを見せました。各ギャラリーからは、世代を超えた交流が増加していることや、新たに市場に参入する新規購入者の層が着実に広がっていることが報告されています。フェアが刷新したVIPプログラムは、こうした活況を生み出す上で重要な役割を果たしました。さらに、和美術館や上海外灘美術館といった地域の主要機関との協働により設立された「**フレンズ・オブ・アートバーゼル香港**」の立ち上げも相まって、アジア全域のコレクターや美術館・機関との関係が一段と強化されています。

今会期においても、美術館や機関関係者の来場がひととき高まりました。27の国や地域から170を超える美術館や財団の代表者が訪れており、主な来場機関は以下の通りです。**アジア・アート・アーカイブ**（香港）、**ボンピドゥー・センター**（パリ）、**バイエラー財団**（リーエン/バーゼル）、**広東美術館**（広東）、**グッゲンハイム・アブダビ**（アブダビ）、**和美術館**（仏山）、**ハーシュホーン博物館と彫刻の庭**（ワシントンD.C.）、**香港藝術館**（香港）、**香港故宮文化博物館**（香港）、**K11アート・ファンデーション/KAF**（香港）、**サムソン美術館リウム**（ソウル）、**M+**（香港）、**民生現代美術館**（上海）、**ミュージアム・マチャン/ヌサンタラ近現代美術館**（ジャカルタ）、**バンコク現代美術館/MOCAバンコク**（バンコク）、**成都当代美術館**（成都）、**上海当代芸術館**（上海）、**中国国家博物館**（北京）、**国立国際美術館**（大阪）、**パラサイト**（香港）、**上海外灘美術館**（上海）、**サンフランシスコ近代美術館/SFMOMA**（サンフランシスコ）、**シンガポール美術館**（シンガポール）、**ソロモン・R・グッゲンハイム美術館**（ニューヨーク）、**大館コンテンポラリー**（香港）、**テート**（ロンドン）、**メトロポリタン美術館**（ニューヨーク）、**ニューヨーク近代美術館/MoMA**（ニューヨーク）、**ユーレンス現代芸術センター**（北京）。

本フェアの開催は、香港の文化シーン全体がとりわけ活気づく時期と重なりました。香港藝術館、香港故宮文化博物館、M+、大館コンテンポラリー、ビデオテージなどのパートナー機関で大規模な展覧会やプログラムが展開されたほか、市内全域に広がる文化パートナーとの幅広いネットワークを通じて様々な催しが行われました。さらに、香港バレエ団との初のコラボレーションをはじめとする分野横断的なパートナーシップが実現したことで、年間を通じて芸術活動や交流の拠点となる香港の重要性が改めて浮き彫りになりました。

ギャラリーからのコメント

「香港のアートシーンが引き続き活況を呈していることをご報告でき、大変嬉しく思います。初日の販売実績は好調でしたが、それ以上に意義深かったのは、非常に多くの新規コレクターをお迎えできたことです。新世代がアジアのアート市場に確実に参入しつつあります」

— **デヴィッド・ツヴィルナー、デヴィッド・ツヴィルナー**（パリ、香港、ロンドン、ロサンゼルス、ニューヨーク）創設者

「フェア初日の盛況ぶりに大変胸を躍らせています。長年のお客様と旧交を温めるとともに、新たなお客様ともご縁を結ぶことができました。フェア会場のブースとギャラリーでの展覧会、その双方に対する反響は期待をはるかに上回るものでした」

— **ニック・シムノヴィッチ、ガゴシアン**（香港、パリ、アテネ、ローマ、バーゼル、グシュタード、ル・ブルジェ、ロンドン、ビバリーヒルズ、ニューヨーク）アジア担当シニア・ディレクター

「今週の香港には、アジア太平洋地域からキュレーターやアーティスト、コレクターなど私たちの親しい友人が数多く集まり、そこから素晴らしい対話と熱気が生まれています。今回のアートバーゼル香港は、一段と飛躍を遂げたように感じます。

その結果として、初日だけでルイーザ・ブルジョワ、ジョージ・コンド、ラシード・ジョンソン、イ・ブル、シンディ・シャーマン、エイヴリー・シンガー、チウ・シャオフェイ、フローラ・ユクノヴィッチといった作家たちの作品を、アジアをはじめとする世界の権威あるコレクションや機関に納めることができました」

— **マーク・パイヨ、ハウザー&ワース（パリ、香港、モナコ、メノルカ島、バーゼル、グシュタード、サン・モリッツ、チューリッヒ、ロンドン、サマセット、ロサンゼルス、ニューヨーク、ウェスト・ハリウッド）社長**

「これまでに総額約 500 万ポンドを売り上げ、約 20 点の作品が成約に至っています。アントニー・ゴームリーやトレイシー・エミンの作品に熱狂的な反響が寄せられたほか、エテル・アドナン、モナ・ハトゥム、ハウルデナ・ピンデル、シャオ・ファンらの作品も次々と重要なコレクションに迎え入れられました。こうした活況ぶりから、アジア地域における当ギャラリーのプログラムの魅力と高い訴求力を改めて実感しています」

— **ウェンディ・シュウ、ホワイト・キューブ（香港、パリ、ソウル、ロンドン、ニューヨーク）アジア担当マネージング・ディレクター**

「極めて質の高いトップクラスのコレクターが数多く来場しています」

— **ヘンリエッタ・ツァイ＝リオン、オラ・オラ（香港）創設者**

「香港の活気が戻ってきました！カン・ソギョン、イ・シンジャ、ジェニファー・ティーの重要な作品を、アジアの主要な美術館や財団へ納めることができ大変嬉しく思っています。アジア全域から多くのコレクターが足を運んでおり、とりわけ中国本土からの来場者の多さが際立っていました」

— **ティナ・キム、ティナ・キム・ギャラリー（ニューヨーク）創設者**

「水曜日のVIPプレビュー開幕以来、アジア全域はもちろん世界中から来場者が訪れ、ブースは大変な賑わいを見せています。香港をはじめ、東京、シドニー、バンクーバー、ジャカルタ、ダカールから訪れたキュレーターたちとも非常に有意義な対話が交わされました。本フェアの影響力と、香港および周辺地域で着実に成長を続けるアートのエコシステムには、本当に感銘を受けています」

— **ニーナ・レヴェント博士、サパー・コンテンポラリー（アルマトイ、ニューヨーク）創設ディレクター**

「今回のフェアでは、日本の主要財団の代表者や、東南アジアを拠点とするトップコレクターをはじめ、国際色豊かで多様なコレクターの皆様とお会いする素晴らしい機会に恵まれました」

— **ジェウ・チェ、チョヒョン画廊（釜山、ソウル）代表**

「シンガポール、タイ、韓国、中国本土、日本など、アジア全域で数多くの新規コレクターと関係を築けたことを大変嬉しく思います。アジアが引き続き重要な拠点であることはもちろんですが、並行してヨーロッパやアメリカのコレクターとも活発に商談を進めているところです」

— **フレデリック・アルナル、フェローシップ（ロサンゼルス）共同創設者 / Zero 10**

「『Zero 10』のアジア初登場の場に参加できたことは素晴らしい体験でした。デジタルアートの支援に熱心な機関や財団をはじめ、この地域ならではの新たなコレクターの方々との出会いがありました」

— **アニコ・バーマン、AOTM（ニューヨーク）ディレクター / Zero 10**

「開場と同時に草野絵美の《Magical Compact》が成約し、感謝しています。実体のある従来の作品と並べてデジタル作品を展示できたことも、非常に有意義な試みとなりました。すでにデジタルアートに親しんでいるコレクターの方々だけでなく、普段は実体のある作品を中心に収集されているコレクターの皆様とも、深く交流することができました」

— **亀山いちこ、√K Contemporary（東京）ディレクター / Zero 10**

代表者のコメント

アートバーゼルの香港およびアジア地域に対する長期的なコミットメントについて、**アートバーゼルの最高経営責任者であるノア・ホロヴィッツ**は次のように述べています。

「長年パートナーシップを築いてきた香港文化スポーツ観光局と、新たな歩みを進められることを大変嬉しく思います。香港は10年以上にわたり、アートバーゼルのグローバルな活動の重要な基盤であり続けています。私たちは今回の長期協定を通

じて、国際的なアートハブとしての香港のプレゼンスをさらに高めていくという共通の目標の実現に向けて、力強く歩んでまいります」

アートバーゼル香港のディレクター、アンジェル・シヤン＝ルーは次のように述べています。

「世界がとりわけ複雑さを増している今日において、今年のアートバーゼル香港は、作品販売とグローバルな交流の双方を促す、真に国際的なプラットフォームであることを改めて示しました。今週私たちが目にした質の高い展示や、美術館・機関からの本格的なコミットメント、そして深みのある対話の数々は、本フェアのグローバルな重要性が高まり続けていることを物語っています。会場全体に満ちあふれた新たな活気は、コミュニティをひとつにまとめ、アジア地域と広く世界を結びつける香港ならではの力を明確に伝えていました」

MGM ディスカバリーズ・アート・プライズ

今年で2回目を迎える「**MGM ディスカバリーズ・アート・プライズ**」は、新進気鋭のギャラリーやアーティストに焦点を当てた「ディスカバリーズ」部門において、卓越した展示を行ったアーティストに贈られるアワードです。2026年度は、ナツコ・ウチノ（ギャラリー・アレン）が同賞を受賞しました。受賞アーティストとギャラリーには賞金が贈られるほか、今後アジア地域での作品展示の機会が提供されます。

市内全域における展開とパブリックプログラム

2026年度のアートバーゼル香港は、活気に満ちた市内の文化シーンと連動して開催されました。本フェアは、各機関の取り組みやパブリックプログラムを結ぶ広範なネットワークにおいて、中心的な役割を担っています。

プログラムの目玉となったのは、M+との共同委嘱によりシャジャ・シカンダーが手がけた「M+ファサード」コミッション作品（UBS 提供）をはじめ、クリスティーン・サン・キムによる「エンカウンターズ」部門のオフサイトプロジェクトや、大館で開催された「アーティストナイト」です。

フェア会場である香港コンベンション&エキシビションセンター（HKCEC）においては、香港バレエ団との新たなコラボレーションによるパフォーマンスプログラムが実施されたほか、UBS アートスタジオでは同社の提供によりチャン・ワイ・ラップの作品が展示されました。

パブリックプログラム：「フィルム」、「カンパセーションズ」、「エクスチェンジサークル」

無料で一般公開された「フィルム」、「カンパセーションズ」、「エクスチェンジサークル」の各プログラムには、アーティストやキュレーター、文化界のリーダーたちが集結し、トークや上映、プレゼンテーションなど、活気に満ちた企画が展開されました。

エレン・パウのキュレーションによる「フィルム」部門では、「In Between Magic and Reality」（魔法と現実の狭間で）と題し、現代文化における抵抗や記憶、そして生き抜くための戦略としての「想像力」を探求する映像作品のセレクションが上映されました。

アートバーゼルを代表するトークプログラム「カンパセーションズ」は、今回4日間に規模を拡大して開催されました。アジアにおける美術館・機関の発展、変化するコレクターの動向、そしてアートとテクノロジーの交差といったテーマを取り上げ、ドリアン・チョンとシャジャ・シカンダーによる基調対談のほか、「アートバーゼル・UBS | グローバル・アート・マーケット・レポート」の刊行10周年を記念するディスカッションなどが行われています。

また、「エクスチェンジサークル」も引き続きオープンプラットフォームとして設置され、アジア地域の多様な文化パートナーと共同企画した小規模なプレゼンテーションが実施されました。

次回開催について

UBS をグローバルリードパートナーに迎えたアートバーゼル香港は、市内全域で展開される展覧会やイベントプログラムと連動しながら、2026年3月27日から29日（内覧会は3月25日・26日）にかけて、HKCECにて開催されました。

次回のアートバーゼル香港は、2027年3月25日から27日に開催される予定です。

編集者の皆様へ

アートバーゼルについて

1970年にバーゼルのギャラリストたちによって設立されたアートバーゼルは、近現代アートを紹介する世界随一のアートフェアをバーゼル、マイアミビーチ、香港、パリ、カタールで開催しています。それぞれのフェアには開催都市や地域の特色を反映させた独自性が生まれており、参加ギャラリーや展示作品、そして地元機関とコラボレーションした各回毎のプログラム内容にもそういった特長が表れています。「Zero 10」や公式アプリなどの新しいデジタルプラットフォームや、「アートバーゼル・UBS | グローバル・アート・マーケット・レポート」や「アートバーゼル・UBS | サーベイ・オブ・グローバル・コレクティング」、アートバーゼリアワード、そしてアートバーゼルショップといったイニシアチブを通じ、アートバーゼルの役割はアートフェアの領域を超えて拡大しています。詳細は artbasel.com をご参照ください。

パートナー

アートバーゼルの**グローバルリードパートナー**である UBS は、長年にわたり現代アートならびにアーティストの支援を続けてきました。同社は世界的に最も優れた現代アートの企業コレクションのひとつに数えられる作品群を保有しており、アートバーゼルのグローバルリードパートナーシップを通じて、また「アートバーゼル・UBS | グローバル・アート・マーケット・レポート」および「アートバーゼル・UBS | サーベイ・オブ・グローバル・コレクティング」の共同発行者として、アート市場における国際的な対話促進に務めています。UBS はまた、世界の主要な美術機関やイベント、アートフェアの支援にも取り組んでいます。同社は UBS アートアドバイザーを通じて、超富裕層の顧客とそのファミリーオフィスに対し、コレクションの戦略的構築やガバナンスから、フィランソロピーを通じた社会的インパクトの創出、そして次世代への継承に至るまで、コレクションのライフサイクル全体にわたる中立的なアドバイスと実務サービスを提供しています。

2025年スカイトラックス・ワールド・エアライン・アワードにおいて史上最多となる9度目の「世界最優秀航空会社」に選出されたカタール航空は、170以上の就航都市を結ぶネットワークを通じて、人々や場所、文化をつないでいます。アートバーゼルの**プレミアムパートナー**として、同社は新たな発見と文化的対話を促す架け橋として、新たに始まったカタールでのフェアをはじめ、世界各地で開催されるすべてのアートバーゼルを支援しています。

アートバーゼルの**アソシエイトパートナー**は、BMW、オーデマ・ピゲ、香港政府観光局です。BMW は20年以上にわたりアートバーゼルのグローバルパートナーを務め、各フェアを通じて先見性のあるアーティストたちを支援してきました。社会的責任を重視する BMW グループは、半世紀以上にわたり、現代アート、音楽、映画、デザイン分野において、世界中で数百もの文化イニシアチブに携わっています。一方、オーデマ・ピゲは、創造性こそが文化を育み、人々をつなぎ、私たちの生活に意味を与えると考えています。同社が展開する現代アートプログラム「オーデマ・ピゲ・コンテンポラリー」では、世界の作家たちに作品制作を委嘱し、規模や手法を作家の裁量に委ねることで、新たな表現の可能性を広げています。アジアにおける国際的なアートハブである香港は、アジアの文化シーンの最前線に立ち、世界水準のアートフェア、最先端の展覧会、活気あるクリエイティブ地区がダイナミックに融合する都市です。香港政府観光局は、本フェアとのコラボレーションを通じて、活気あふれる香港のアートシーンや、東西が交わるこの都市ならではのアイデンティティを世界に発信していきます。現代アートギャラリーから美食、ラグジュアリートラベルまで、文化と創造性、洗練された感性が融合した世界水準のライフスタイルをご体感ください。

さらに、アートバーゼル香港では、**ショーパートナー**のルイ・ヴィトン、チャプ、GoTone Privilege Club、ホストパートナーのルイナール、スワイヤ・プロパティーズ（太古地産）、HOKA、レイバン、ネットドラゴン、**オフィシャルパートナー**のサムスン、ゼニア、MGM、ミラノサローネ国際家具見本市、ローズウッド香港、アッパーハウス香港、クインテセンシャリー、JNBY、3HK、ソーホーハウスも支援に加わっています。また、アートバーゼルの**グローバルメディアパートナー**はフィナンシャル・タイムズです。パートナーシップについての詳細は artbasel.com/partners をご覧ください。

今後のアートバーゼル開催予定

バーゼル、2026年6月18日～21日

パリ、2026年10月23日～25日

マイアミビーチ、2026年12月4日～6日

カタール、2027年1月
香港、2027年3月25日～27日

オンラインプレス情報

プレス情報、画像は artbasel.com/press から直接ダウンロードしていただけます。報道関係者はメディアメーリングリストにご登録いただくと、アートバーゼルの情報を受け取ることができます。

アートバーゼルの最新情報は artbasel.com をご覧ください。Facebook ページは facebook.com/artbasel、インスタグラム・ツイッター・WeChat は、[@artbasel](https://twitter.com/artbasel) にてフォローしていただけます。

プレス担当 連絡先

アートバーゼル | Fay Pang
電話 +852 9822 3229、press@artbasel.com

アジア向け PR 担当
SUTTON | Erica Siu, Beth Corner
電話 +852 6015 1016、erica@suttoncomms.com、beth@suttoncomms.com

欧州、中東、アフリカ向け PR 担当
SUTTON | Khuroum Bukhari, Joseph Lamb
電話 +44 7715 666 041、khuroum@suttoncomms.com、joseph@suttoncomms.com

南北アメリカ向け PR 担当
SUTTON | Sara Fox, Claire Schwartz
電話 +1 423 402 5381、saraf@suttoncomms.com、claires@suttoncomms.com